



令和5年度  
こうちこどもファンド  
事業報告書



## 【目次】

1	令和5年度事業スケジュール	2
2	助成を決定する審査員等	3
3	公開審査会	4
4	助成団体の活動	6
5	活動発表会・こうちこどもファンドフォーラム	7
6	令和5年度高知市子どもまちづくり基金実績	38
7	今後に向けて	39

## 【資料編】

- ・高知市子どもまちづくり基金条例
- ・高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱
- ・令和5年度活動発表会アンケート結果
- ・寄附者一覧表
- ・「こどもファンド通信」第41号（令和5年5月発行）
- ・「こどもファンド通信」第42号（令和5年8月発行）
- ・「こどもファンド通信」第43号（令和5年10月発行）
- ・「こどもファンド通信」第44号（令和5年12月発行）
- ・「こどもファンド通信」第45号（令和6年2月発行）

## ごあいさつ

子どもたちが自ら高知のまちについて関心を持つきっかけとなり、「高知をもっと好きになってもらいたい」「高知で生まれ育ったことを誇りに思ってもらいたい」という思いで始めた「こうちこどもファンド」は、市民の皆様のご協力や、企業・団体・個人の皆様からのご賛同をいただき、制度開始から12年目を迎えました。

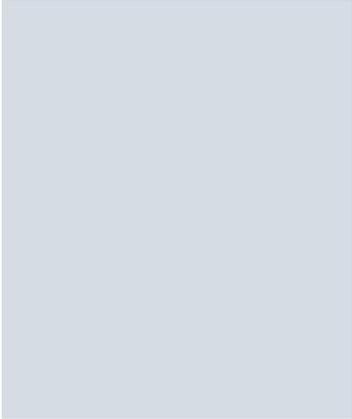
この間に、こどもファンドの活動団体やこども審査員の経験者が、大人になり、令和5年度の活動発表会では、経験者の皆さんに司会などの運営を一緒に行っていただきました。大学生や大人になってもこうちこどもファンドやまちづくりに関わってくれていることに感謝の気持ちで一杯です。

また、このことは、将来の高知のまちづくりへの大きな希望を持てることとして、大変嬉しい気持ちであり、こうちこどもファンドが今後のまちづくりにも貢献していくものだと感じております。

令和5年度は12団体の助成が決定し、助成団体の子どもたちは、それぞれ工夫しながら、防災・清掃・動物と人間が共生できるまちづくりなど様々な分野のまちづくり活動に取り組んでくださいました。公開審査会で助成が決定してから約8か月間の活動は、地域内外の方たちとの連携や交流を行うなど、普段の生活では味わえない様々な経験になったことと思います。子どもたちには、この経験をもとに、これからもまちづくりに関心を持ち続けていただければと思います。

さて、令和5年度にはこども基本法が施行され、全ての子どもが学校や地域等で自分の意見を自由に言うことできるといった「子どもの権利」が尊重され、子ども施策を総合的に推進することが重要となっています。平成24年度から始まっているこうちこどもファンドは、こども基本法の理念を10年以上前から先取りしたのですが、より一層、子どもたちが活動しやすく、市民の皆さんも関わっていただけるよう、これからも子どもたちのまちづくり活動を応援し、「夢がかなえられる街、高知市」を実現していきたいと考えております。

最後になりますが、まちづくり活動に取り組んだ子どもたちの今後の活躍に期待するとともに、制度創設から携わっていただいております卯月先生、また制度の運営に関しまして重要な役割を担っていただいておりますこども審査員及びこども審査員サポーターの皆様、こどもファンドアドバイザー、そして活動を応援していただいた皆様に感謝を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



高知市長 桑名 龍吾

# 1 令和5年度事業スケジュール

	運営等	広報等
4月	9日 事前説明会 (会場：市民活動サポートセンター)	
5月	10日 助成事業応募締め切り	こどもファンド通信(第41号)発行
6月	11日 事前研修会 18日 公開審査会	
7月		
8月	<b>助成団体の活動期間</b>	こどもファンド通信(第42号)発行
9月		
10月		こどもファンド通信(第43号)発行 令和5年度公開審査会報告書 発行
11月		
12月		こどもファンド通信(第44号)発行
6年1月		
2月	↓	・こどもファンド通信(第45号)発行 ・市内近隣小中高校等へ、事業募集及び第12期こども審査員募集案内ちらしの配布
3月	20日 活動発表会 チーム・こうちこどもファンドに向けたワークショップ	

## 2 助成を決定する審査員等

### (1) 審査員について

こうちこどもファンドの審査は、「大人審査員（こども審査員サポーター）」と「こども審査員」が一緒に行います。大人審査員（こども審査員サポーター）は、学識経験者・民間企業関係者・まちづくり活動関係者・行政などの分野からなる7名で構成されています。こども審査員は1年ごとに募集しており、令和5年度の第12期こども審査員は、小学校5年生から高校3年生までの10名で構成されました。こども審査員は、審査会の1週間前に「事前研修会・事前審査会」を行い、公開審査会に向けて準備を行いました。

#### ○事前研修会

こどもファンドの事業趣旨を学ぶとともに、応募グループから出された申請書の内容について、大人・こども審査員が情報を共有し、自分たちが審査する時のポイント（審査項目）を話し合い、決定しました。その際、子どもたちが活発な議論ができるよう「こども審査員サポーター」にサポートしていただきました。また、公開審査会当日にも、こども審査員を支援する役割を担っていただきました。

#### ○事前審査会

模擬プレゼンテーションを行い、決定したばかりの審査項目に添ってこども審査員が実際に審査を体験しました。

### (2) 申請団体側のサポートについて

「こどもファンドアドバイザー」に、①こどもファンドへ応募するまでの企画を検討するとき②応募後、公開審査会での発表方法を考えるとき③助成決定後の活動時の3段階におけるアドバイスを行っていただきました。

#### こども審査員（10名）

宇賀 みくる（小高坂小学校5年）、高橋 栞（大津小学校5年）、岡崎 倫太郎（高知小学校6年）、増田 善文（高知中学校1年）、高橋 奏（国際中学校2年）、古谷 愛夏（高知学芸中学校3年）、山本 稜平（高知工業高校1年）、増田 光祥（高知高校2年）、青木 晴楓（土佐塾高校3年）、青木 琉美奈（高知商業高校3年）

#### 大人審査委員（こども審査員サポーター）（7名）

審査委員長・卯月 盛夫（早稲田大学社会科学部・社会科学総合学院教授）、審査副委員長・野村美尋（谷本物流（株）取締役）、梶 英樹（高知大学地域連携推進センター地域コーディネーター講師）、尾崎 昭仁（特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議 事務局長）、森岡 千晴（高知県青年団協議会 監事）、松下 整（市教育長）、中城 純一（市市民協働部長）

#### サポート役（2名）

こども審査員サポーター 岩村 綾（市教育委員会学校教育課 指導主事）  
こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行

※役職・学年等は、令和6年3月31日時点のものです。

### 3 公開審査会

○日時：令和5年6月18日（日） 13時～16時 ○場所：保険福祉センター

#### こうちこどもファンド公開審査会スケジュール



13:00	<b>こどもファンド公開審査会 開会</b>
13:10～	<b>公開プレゼンテーション</b> 応募団体が3分以内で発表します。その後、審査員と応募団体との間で、5分以内で質疑応答（審査員からの質問に応募団体が回答）を行います。6団体発表後、5分間の休憩を挟み、残りの6団体の発表が行われます。
14:30～	<b>休憩</b> 休憩時間の間に、こども審査員が一次審査を行います。
14:40～	<b>審査員による公開協議</b> こども審査員の一次審査の結果をもとに、審査員が公開で話し合いを行います。そのなかで、審査員からもう少し質問があるというグループに対して、再度質疑応答を行い、最終判断となります。
15:25～	<b>休憩</b> 休憩時間の間に、こども審査員が最終審査を行います。
15:35～	<b>審査結果発表</b>
15:45～	<b>こども審査員からの感想発表</b>
15:55～	<b>審査委員長からの講評</b>
16:00	<b>閉会</b>



## (1) 審査の流れ

- ①応募団体は、助成申請した活動内容を3分以内でプレゼンテーションします。
- ②各団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を5分間、設けます。
- ③プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員が各団体の事業について「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④一次判断の結果をもとに、こども審査員と大人審査員（こども審査員サポーター）が公開で助成するかしないか審議を行います。特に「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対して、審査員から再度、質疑応答を行います。
- ⑤公開での審議後、こども審査員が助成するか、しないかについての最終判断を行い、こども審査員の過半数以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。

## (2) 審査結果

申請団体 12 団体の全てに助成決定されました。

助成団体	助成金額 (円)	得票数	助成合否
旭っ子記者クラブ	200,000	8	採択
Mteens	190,000	8	採択
Lien	200,000	7	採択
高知清掃隊	141,400	8	採択
Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会	200,000	8	採択
こくささいず	191,680	5	採択
Diff érent	200,000	8	採択
土佐女子おれんじ flowers	43,110	8	採択
ゑん	200,000	8	採択
Team Petrio	200,000	8	採択
久重 natural チーム	175,000	8	採択
One For All in 城西中	200,000	6	採択

※なお、公開審査会の内容の詳細は、令和5年10月発行の「こうちこどもファンド令和5年度審査会報告書」に掲載しております。

## 4 助成団体の活動

○助成活動期間：令和5年7月1日 ～ 令和6年2月29日

審査会において助成決定された12団体は、それぞれ次のような活動を行いました。

発表No.	グループ名	活動テーマ	活動内容	こども代表者及びメンバー
1	旭っ子記者クラブ	ひろがる・つながる・あさひのわ	○旭地区の人や地域のことを調べて、面白い情報やいいなと思う話題をブログや通信、Youtubeで発信する。	小松 煌汰 旭小学校・旭中学校・附属中学校西部 中学校生徒合計15名
2	Mteens	マナー化からの脱却！高校生中心の防災	○高校生の防災意識を高める炊き出し活動の実施や飛散防止フィルムの普及活動を行う。	西條 二子 丸の内高校生徒合計6名
3	Lien	異文化交流を通して英語の楽しさを知ろう	○外国人とコミュニケーションを取り、英語で会話ができる楽しさを知ってもらう異文化交流イベントを開催する。	岡田 百花 国際高校生徒他合計6名
4	高知清掃隊	地域×清掃 みんなが住みやすいまちづくり	○高知市の中心市街地を中心に河川や街中のごみを拾い「ボイ捨て」について環境保護の啓発を行う	土佐塾高校・土佐高校・追手前高校・ 高知高専・丸の内高校生徒合計8名
5	Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会	まもれ 高知 自らの生命を守り 我らの地域を救う	○地域住民や在住外国人に災害時に役に立ててもらおう防災マップの作成や防災の啓発活動を行う。	藤田 優花 南海中学校生徒合計18名
6	こくささいず	Exercise × 地域共生社会	○こども、障害がある方、高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツを使ったイベントを開催する。	上岡 円嘉 国際高校・春野中学校生徒合計9名
7	Différent	地域との関わり×防災	○地域の方といざというときに共助し合える関係づくりを重視した防災イベントを開催する。	曽根 彩花 国際中学校・高校生徒他合計10名
8	土佐女子おれんじflowers	地域と関わりながら生理について知ってもらってみんなが住みやすい社会へ	○女性の生理への理解を深めてもらうために、より地域とつながることを目標に、こども食堂と協力してイベントを開催する。 ○生理に関するクイズや、アップサイクルの雑貨を作成体験を通して、啓発活動を行う。	芝 紗保 土佐女子中学校・高校生徒合計9名
9	えん	伝統工芸品×地域活性化	○高知県の伝統工芸品の魅力を県内外に向けて情報発信を行う。 ○伝統工芸品の展示や、伝統工芸品を現代風にアレンジしているアーティストを招いた講和や、体験型のワークショップを開催する。	上田 こまち 国際高校生徒合計3名
10	Team Petrio	地域と動物をもっと密に！！	○ペットショップ・ブリーダー・愛護団体へインタビュー調査を行う。 ○愛護団体主催のイベントでプース出店やお手伝いをする。 ○「地域猫活動」の啓発活動や、小学校へ動物の飼いや命の大切さを伝える出前講座を実施する。	森 己珂 国際高校生徒合計3名
11	久重naturalチーム	久重の里山の魅力 再発見プロジェクト！② ～SDGsで持続可能なまちづくり～	○星空観察会、川の学習を実施する。 ○災害時に実践できるロープワークなどの防災の知識を、久重小学校区防災イベントに参加し、披露する。	竹崎 万紗・武林 青海 久重小学校・愛宕中学校・高知国際中 学校・土佐女子中学校・高知工業高 校・追手前高校・土佐高校生徒合計27 名
12	One For All in 城西中	一笑千金 ～城西校区に笑顔を～	○升形商店街と協力し、城西中学校と地域のつながりを深めるイベントを開催する ○升形商店街のフリーペーパーの作成する。	上田 義貴 城西中学校生徒合計15名

## 5 活動発表会・こうちこどもファンドフォーラム

○日時：令和6年3月20日（水・祝） 13時～17時30分 ○会場：総合あんしんセンター

こうちこどもファンド活動発表会

チーム・こうちこどもファンドに向けたワークショップスケジュール

### 活動発表会

13:00 令和5年度助成団体活動発表会 開会

13:10～ 助成団体による活動成果発表 開始（12団体発表）

○各団体3～5分以内で活動成果を発表し、審査員と質疑応答・意見交換を実施  
団体の発表を聞いて「活動の良いと思う点」「団体へのメッセージ」などをふせん  
に書いて共有します。6団体発表後、5分間の休憩を挟み、残りの6団体の発表が  
行われます。

15:05～ 交流タイム（投票・休憩時間含む）（30分）

○活動団体に対する賞の投票（審査員・こうちこどもファンドOB・OG・活動団体）  
○自由に活動団体と交流  
会場を自由に回り、各活動団体へ活動してみた感想を聞いたり、成果物・模造紙を  
見る自由な交流の時間です。

15:35～ 団体表彰

15:45～ こども審査員感想発表

15:50～ 審査委員長からの講評

16:00 閉会

閉会后、記念撮影を行います。

### チーム・こうちこどもファンドに向けたワークショップ

16:15～ 開会

16:20～ ワークショップ

令和5年度活動団体・こども審査員・こうちこどもファンドOB・OGでこうちこども  
ファンドをもっと盛り上げていくためのワークショップを実施します。

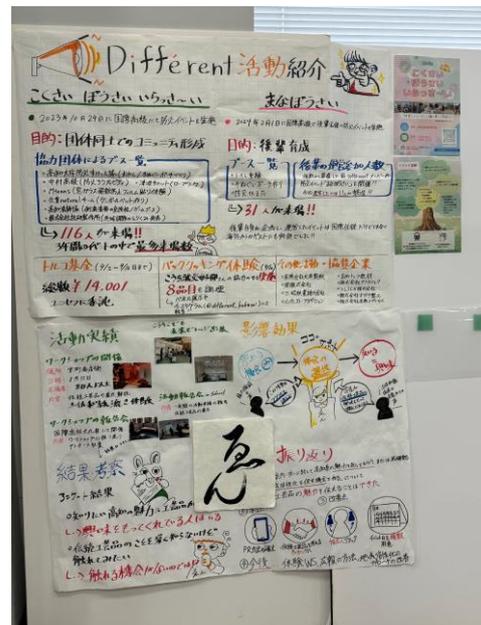
17:25～ 閉会挨拶

17:30～ 閉会

## (1) 活動発表会について

令和6年3月20日(水・祝)に助成団体活動発表会を開催しました。12の助成団体が自分たちが取り組んだ活動について、1グループ5分以内で発表を行いました。

助成が決定してから8か月間、学業やクラブ活動など、多忙なスケジュールを調整し、自分たちの住む「まち」をより良くしていきたいという思いで活動してきた子どもたちの発表は頼もしく、大きく成長した姿を見ることができました。



NO	グループ名	活動テーマ	助成金額 (円)	ページ
1	One For All in 城西中	一笑千金 ～城西校区に笑顔を～	168,354	10
2	こくささいず	Exercise × 地域共生社会	132,139	12
3	ゑん	伝統工芸品×地域活性化	43,054	14
4	土佐女子おれんじ flowers	地域と関わりながら生理について知ってもらって みんなが住みやすい社会へ	25,897	16
5	Différent	地域との関わり×防災	117,351	18
6	Team Petrio	地域と動物をもっと密に！！	14,569	20
7	高知清掃隊	地域×清掃 みんなが住みやすいまちづくり	34,216	22
8	Lien	異文化交流を通して英語の楽しさを知ろう	137,725	24
9	Mteens	マナー化からの脱却！高校生中心の防災	77,021	25
10	旭っ子記者クラブ	ひろがる・つながる・あさひのわ	189,174	27
11	久重 natural チーム	久重の里山の魅力 再発見プロジェクト！② ～SDG s で持続可能なまちづくり～	169,663	28
12	Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会	まもれ 高知 自らの生命を 守り 我らの 地 域を救う	173,869	30

## (2) 発表・質疑内容

### No.1 One For All in 城西中

#### ○発表○

私たちは、升形商店街とコラボしてお祭りを開催しました。開催後には、本当に笑顔が増えましたので、その様子などを報告します。

企画の目的は城西中学校が城北中校区に立地するため、地域の人は本校にあまりなじみがありません。そのため、学校を地域に開くための地域と学校をつなぐきっかけづくりをしたかったのです。

お祭りには升形商店街とのコラボを始め、多くの人たちがこのイベントにご賛同してくださりました。当日は合計401人が来てくださり、大盛況となりました。テレビの取材もあり、インタビューを受けてくれた大人は、地域の町内会長さんや地域学校協働本部の委員さんでした。

来場者へのアンケートでは、来場者の年代は小中学生と大人が多く、小学生や幼児の家族がたくさん来ました。そして、来場者の29%は城西中を利用したことがない人だったので、今回初めて利用してもらえて良かったです。また、城西中のイベントに参加してみたいかという問いには、ほとんどの人が肯定的に答えてくれましたが、否定的な回答が5%あったので、私たちは改善すべきところを2つ考えました。

1つ目にお客さん用の座席が少なかったこと。2つ目にわたあめ作りに時間がかかって暑い中待たせてしまったことです。いただいたご意見を今後の活動に役立てようと思います。

また、このイベントの後、地域の防災フェアがあり、私たちも出店させてもらいました。この時に私たちのような中学生でも、地域に何らかの形で役に立っている実感がありました。来年度も、地域の防災フェアに出店し、地域の人に来てもらえるようにしたいと思います。

今回のイベントを通して、地域の人の笑顔から、地域の一員として認めてもらえたように思いました。最後に、こどもファンドの皆さん、このような機会をくださってありがとうございました！

#### ○質疑応答○

増田(光)委員： 反省会の中で次回の提案のようなものはありましたか。

活動団体： 来年度も防災フェアと一緒にやりたいと思っています。

青木(晴)委員： イベント以外に取り組みたいことはありますか。

活動団体： 升形商店街とのコラボを増やしていきたいと考えています。



# One For All in 城西中

一笑千金 ～城西校区に笑顔を～

をやったら  
地域に笑顔が増えました！

そもそも、なんで地域とつながりたいの？  
実は城西中学校って・・・城北中校区に建っている！



★が城西中で、  
白いところは校区外です。  
(グリーン・イエロー・ブルーのところが城西中校区)

学校周辺の人たちは、  
城北中出身なのです。

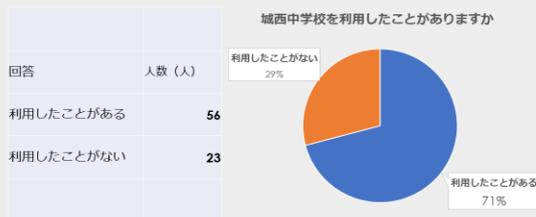
## 9月17日(日)イベント開催！ 協力してくださった方々

- ・升形商店街とそこご友人
- ・上街地域包括支援センター
- ・高知市社会福祉協議会  
(バルーンアート講師派遣など)
- ・四国浄管(防災用トイレ「大地くん」寄贈者)
- ・地域の町内会
- ・城西中学校地域学校協働本部
- ・城西中学校の生徒・教職員

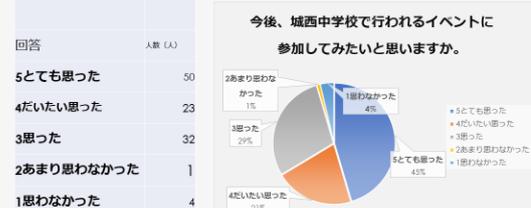
## 来場者アンケート分析



## 城西中学校の利用者



## 城西中学校のイベント参加してみたいと思いますか。



防災フェア12月10日 @城西中学校中庭

## 来年度は・・・

地域の「防災フェア」に出店することで

- ① 防災フェアの来場者を増やす！
- ② 地域の人に城西中を開くことを目指します！

これからも、地域の人と協働して、地域のための城西中学校にしていきます！



地域の笑顔で、私たちも笑顔になりました！

## No.2 こくささいず

### ○発表○

私たちは、パラスポーツやアダプテッド・スポーツを体験して誰でも幅広い年代の人が社会に参画できるような共生社会の実現を目指し活動しました。

活動内容は3つあり、1つ目は、ほおっちょけんイベントでポッチャ体験してもらいました。2つ目は、子ども未来ビレッジでは、スポーツスタッキングを行いました。3つ目は、パラフェスの開催です。自分達自らが企画し、ぼっチャ体験や車いすバスケ、スポーツスタッキング、ライフル射撃等の体験ができるようにしました。

パラフェスでの来客数は、目標来客人数の60人を大幅に超える100人以上の幅広い年代が来てくれました。

今後は地域の人とのつながりを深め、SNSを運用し、多くの人を集めることが自分たちの活動を知ってもらう一歩になると考えます。

また、他の団体と積極的に交流を行い、イベントのブースを増やし、より充実したイベントを開催したいと考えています。



### ○質疑応答○

増田(光)委員： いろんな競技の中で一番の人気は何ですか。

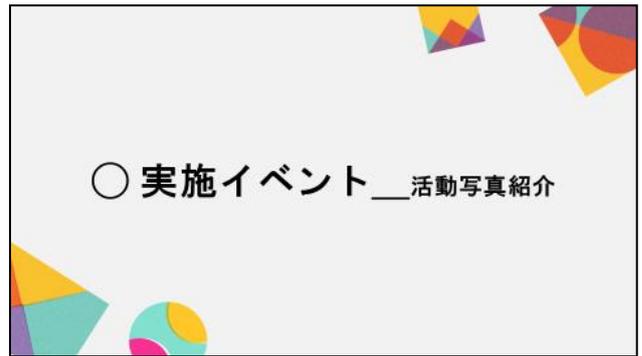
活動団体： アンケートでは、全てが同等程度の人気だった。  
全て楽しんでもらえたと思います。

古谷委員： 活動報告書の障がい者スポーツセンターからオーテピアに変更した理由はなんですか。

活動団体： 検討していく中で、お客さんの収集が難しくなるため、公共交通機関の整っている商店街付近がいいと考えたからです。

高橋菜委員： SNSでの告知について、ポスターやチラシの効果はとてもよかったのではと感じた。工夫はしましたか。

活動団体： 帯屋町やオーテピア等の人が集まる場所に置きました。お客さんが来た理由として、オーテピアでやったことが大きい。本を借りに来た人等がついでに寄ってくれたことも多くありました。



### No3. 畳

#### ○発表○

私たちの活動テーマは伝統工芸品×地域活性化です。高知県内外に高知県の魅力を知ってもらう、また高知の魅力を確認することで地域活性化の機会を作ることを目的としています。

私たちは計画・実施・改善・報告のサイクルで活動を行い、ポスターやパンフレット等を作成しました。

そして、8月15日にははりまや橋商店街と京町商店街の一部を使用して、主催のワークショップを開催し、伝統工芸品の解説、展示、土佐和紙の紙すき体験を行いました。このワークショップの報告は文化祭でブースを借りて実施しました。

また、伝統工芸品に関するアンケートでは、「伝統工芸品を知らなかった。」「アプローチ方法が分からない。」等伝統工芸品に興味がある人が実際にいることが分かりました。

また、ワークショップ後は、「伝統工芸品の大切さを知れた。」「紙すき体験ができてよかった。」等の声をいただき、伝統工芸品について提供することで、地域活性化を促すきっかけができたと考えています。

しかし、あくまできっかけであり、地域活性化までは届かなかったと感じています。伝統工芸品のアンケート等から傾向を掴んで伝統工芸品のPR方法等の確立ができたのですが、活動の多くが報告会だったことや体験型ワークショップが少なかったことが反省点です。

今後は、イベント日を複数日設定すること。体験型ワークショップを土佐和紙以外でもやること、広報の仕方を工夫することや商業施設でイベントを実施し、今後の地域おこしにつながることをしていきたいです。

#### ○質疑応答○

青木(晴)委員： 定期的に行うアンケートでは、イベント参加者が多く、イベントに参加できない方へ伝統工芸品を届けることが難しいと思ったのですが、イベント以外のアプローチを考えていますか。

活動団体： 旅行プランとして、伝統工芸品を作ることで伝統工芸品を伝えていきたいと考えています。

森岡サポーター： 皆さんが思う伝統工芸品の魅力はなんですか。その魅力が誰かに魅力を伝えるときのヒントになり、地域が元気になっていくのかなと思いました。

活動団体： 伝統工芸品は意外と身近なものだということが一番の魅力だと考えています。小学6年生の時に卒業証書に土佐和紙が使われており、こんなに身近なものだと知ったことがきっかけです。

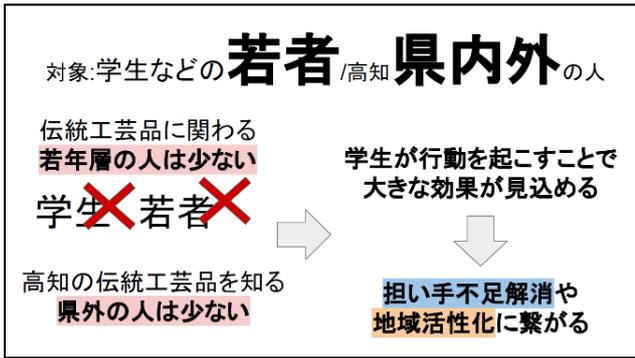




**概要**

活動テーマ  
**「伝統工芸品×地域活性化」**

目的  
 高知県内外に高知県の魅力を知ってもらい  
 または再確認するとともに地域活性化を促す機会を作る



**実施計画**

5月8日	(高知国際高校内プレワークショップ)
8月16日	ゑん主催ワークショップ開催
9月1,2日	高知国際高校文化祭ブースにて展示
9月15日	「Kaji/糺」、「人造自然」観劇
10月23日	夜の紙博-光る森と水の音- 来場
12月3日	こうちこども未来ビレッジ出展
12月21日	「干支の『土佐和紙漆喰張り子』に絵付けしよう」参加
2月13日	高知国際高校内成果発表会



**1.ワークショップの開催**

日時: 8月15日  
 場所: 高知市学生活動交流館  
 : 広場  
 内容: 伝統工芸品の解説  
 : 伝統工芸品の展示  
 : 土佐和紙漉き体験

**2.WS報告会の開催**

日時: 9月1/2日  
 場所: 高知国際高等学校  
 内容: ワークショップの振り返り  
 : ワークショップの風景(動画)  
 : 伝統工芸品の展示  
 : アンケート収集

**3.活動報告会の開催**

日時: 2月13日  
 場所: 高知国際高等学校  
 内容: 一年間の活動実績の報告  
 : 活動の振り返り  
 : 伝統工芸品の展示



- Q. 今回のWSの感想や伝統工芸品の印象が変わった点など**
- 伝統工芸品は大切だと思う
  - 子供が紙漉きをしたいと言っていたので、体験できてよかった
  - 伝統的な工芸品に触れる機会は大変だった
  - 和紙作りに興味があったので楽しかった
  - いい経験になった



## No.4 土佐女子オレンジ flowers

### ○発表○

今年度の活動のテーマは、「地域と関わりながら生理について知ってもらってみんなが住みやすい社会へ」でした。

多くの人に生理の貧困問題を知ってもらうために、〇×クイズを作成し、計5回のイベントで約250人もの方が挑戦しました。屋外イベントでは、〇×クイズを挑戦した方に正解数に応じて、駄菓子をプレゼントし、室内イベントでは、それに加えて、ビーズを使ったキーホルダーづくりを実施しました。

今年度の活動の良かった点は2つあります。1つ目は、多くのイベントに参加できたことです。たくさんの人と交流でき、良い経験となりました。2つ目はクイズ形式にしたことで男女の違いや年齢に関係なく、生理の知識を広げられたことです。このことが少しでも私たちのまちをより良くするきっかけになると嬉しいです。

反省点は2つあります。1つ目は、最初に〇×クイズを作った際に小さな子どものことを考えられていなかったことです。最初に製作した〇×クイズは漢字が多く、ふりがなも振っていなかったため、子どもには難しい内容でした。その後、改良を行い、問題を簡単なものに変更したり、イラストを入れて分かりやすくしたりしました。2つ目は、避難所の備蓄品に生理用品があるか調べることや活動成果を展示するという目標が達成できなかったことです。しかし、活動成果については、4月8日からオーテピアで掲示してもらえらることになりました。

活動は3年目になりましたが、これからも培った人脈等を駆使しながら活動の規模を広げたいです。生理に苦しむ方のために、みんなが住みやすいまちのために活動していきたいです。



### ○質疑応答○

山本委員： 公開審査会で男性が関わりにくい問題にどのように対応するかを聞きましたが、その際に〇×クイズをするといった答えをいただきました。実際に取り入れていただいて、具体的に〇×クイズの影響や効果があれば教えてください。

活動団体： 親子の参加が多く、お父さんが生理について知るきっかけになったと思います。

増田(光)委員： 今後の展望で高知笑顔マイレージについて教えてください。

活動団体： 具体的には、ボランティアをすることでポイントになり、次の年度で商品券になる制度で、来年度以降がこのポイントの商品券を活動資金にできたらいいなと思っています。

## 土佐女子おれんじ flowers

令和5年度活動報告



## 活動のテーマ

地域と関わりながら生理について  
知ってもらってみんなが住みやすい社会へ

## 活動の様子



## 良かったところ

- ▶ 多くのイベントに参加できた  
→ 沢山のひとと交流ができた
- ▶ ○×クイズをした  
→ 男女ともに生理に関する知識  
を広められた



## 反省点

- ▶ 小さな子供達のことを考えずにクイズを制作していた
- ▶ 避難所や防災倉庫を調べられなかった
- ▶ 2月に成果の掲示ができなかった



## これからの活動

- ・ 反省点を活かす
- ・ 活動の規模を広げる



## みんなが住みやすい 社会へ!!

ご清聴ありがとうございました。

## No. 5 Different

### ○発表○

私たちは、「地域のつながり×防災」をテーマに活動してきました。

活動目的は、改めて自分たちも防災を学ぶ、団体と地域間など、より強いコミュニティを形成することでした。

活動では、技研製作所さんへの訪問やパッククッキングやイベントを行いました。計画と違ったところはクラウドファンディングを行えなかったことです。

具体的な活動内容は、まず夏休みには技研製作所さんを訪問して「RED HILL」を見学し、建設を通して災害を防ぐという違った視点の防災を学ぶことができた。8月にはコロナ禍ではできなかったパッククッキングを高知減災女子部さんで行いました。9月上旬にはトルコ募金活動を行い、総額1万4001円をユニセフに寄附しました。10月29日にはこくさいぼうさいいらっさ〜いを高知国際高校で行い、116名の参加がありました。

Differentは、トイレ実験、校内探検、パッククッキングのパネル展示を行いました。協力団体の高知大学防災すけっと隊さんにはお菓子ポーチづくりと手ぬぐいポーチづくりのブース、技研製作所さんには取組照会ブース、久重 natural チームさんには段ボールベッドづくりのブース、中村高校さんには防災アクティビティのブースを展開していただき、その他にも高知清掃隊さんには、取組紹介ブース、津波サミットさんにはロープワークのブース、Mteensさんには窓ガラス飛散防止フィルム貼り体験のブースを用意していただきました。また、今年度は、後輩が企画したイベントを校内で開催しました。

私たちはイベント等の中で団体同士の活動の共有の場を設け、お互いに活動について知ることで、様々な方と交流し、企業・団体の皆さまとの横のつながりを生むことができました。

改善点は、イベントの集客力が少なかったことです。イベント来客者の中で圧倒的に学生が少ないため、学生に向けた広報活動をしていく必要があると考えています。今後の展望として、高知市全体を巻き込んだ活動へつなげていきたいです。学校周辺の地域から高知市へと広げることで、より多くの人の防災意識を高めていきたいです。持続的な Different の活動のために今後も取り組んでいきます。

### ○質疑応答○

山本委員： これまでの3年間でつながった企業等の方と今後はどのようにしていきたいか。

活動団体： 今後も互いに高めあっていきたい。そのためにも来年度もこくさいぼうさいいらっさ〜いを開催したいと考えている。

卯月サポーター： 発表の中で活動団体が8つも参加したことが大変素晴らしい。忙しい中でどのように呼びかけをしたのか教えてください。

活動団体： こうちこどもファンドの団体やInstagram等を駆使して公開審査会前から声掛けをしている団体もあった。



# 地域とのつながり×防災 Différent

## 目的

- ・改めて自分たちも防災を学ぶ
- ・団体と地域間など、より強いコミュニティ形成

## 活動スケジュール

6月18日	公開審査会	9月1日~	ポスター・チラシの配布
7月1日	活動開始	10月24,28日	リハーサル
7月上旬	協力団体へ連絡 ブース出展の依頼	10月29日	イベントの開催
8月1日	技研製作所さんに訪問	12月3日	こうちこども未来 ビレッジに出展
8月2,6日	協力団体と ミーティング	2月1日	ミニイベントの開催
8月12日	バッククッキング	3月20日	報告会
8月26日~	トルコ募金		



## 協力団体一覧

<ul style="list-style-type: none"> <li>○協力団体</li> <li>こうち減災女子部</li> <li>高知大学すけっと隊</li> <li>高知県立中村高校NDS</li> <li>高知清掃隊</li> <li>津波サミット</li> <li>九重naturalチーム</li> <li>株式会社技研製作所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協賛企業</li> <li>有限会社丸英製紙</li> <li>関株式会社</li> <li>三昭紙業株式会社</li> <li>インタレスト・プロダクション</li> <li>高知トップ教材</li> <li>株式会社タナカシヨク</li> <li>SLICK株式会社</li> <li>株式会社オガサ製工</li> <li>株式会社高南メディカル</li> </ul>	
---	--	--

## 達成できたこと

- 横の繋がりを生んだ  
イベントを通して8つの団体を繋いだ
- 食の観点から防災を学んだ  
災害時の食問題に加え、災害時におけるバッククッキングの必要性を学んだ

## 今後の展望

○高知全体を巻き込んだ活動

私たちには「存在意義」がある  
➡対象を広げることで、自分のまちをより良くする

## 今後の展望

○後輩への継承  
Différentという団体の継続のため

## No. 6 Team Petrio

### ○発表○

今年度は、避妊去勢手術を行っている現場の見学や譲渡会へ参加、イベントでのブース出展をしました。TNR 活動の一環である避妊去勢手術の見学では、現場ならではの情報を収集することができました。12月には旭イオンで開催されたにゃんにゃんマルシェという譲渡会では、運営のお手伝いと簡単なブース出展を行いました。小規模な譲渡会に参加するのは初めてだったので、商業施設利用者にも躊躇なく声をかける姿を見て、また一つ譲渡会に関する知見を得ることができました。11月の鏡川緑地公園イベントへのブース出展では、動物愛護を知らない子どもを対象にした広報活動を行いました。事前にミサンガを製作し、その配布と同時にポスターの配布や口頭での説明を行い、2日間で約100名の方が来ました。配布したポスターは、昨年度に作成したポスターをさらに更新して、イベント配布用として印刷したものです。今年度はイベントに限った配布でしたが、来年度は各小学校へ配布を予定しています。



また、活動広報のためにチームの名刺を作成しました。活動内容の紹介や動物と共生するために推進している TNR 活動の概要も記載しています。

一方で小学校での出前授業の実施は達成できず、資料作成までとなりました。次回は、先を見据えた計画を立て、それを一つずつ実行していくことを活動の軸に置きたいと思っています。

来年度は、できる限り多くの小学生にポスターの配布や出前授業を行う等の動物愛護の周知をしていき、今年度達成できなかった小学校等での出前講座を行っていきます。また、今後は気軽に相談できる窓口のような役割も担っていきたいと考えています。

### ○質疑応答○

増田(善)委員： TNR 活動は具体的にどのようなものか。

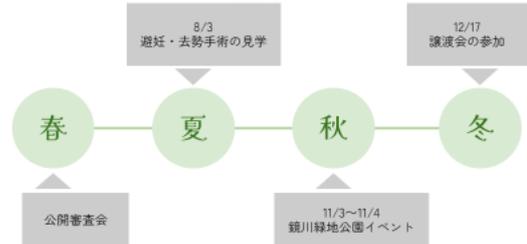
活動団体： TNR 活動は、Trap・Neuter・Return（トラップ・ニューター・リターン）の頭文字を取ったもので、野良猫を保護して不妊去勢手術を行って、元の場所に戻す活動を言います。TNR 活動は、野良猫の過度な繁殖を防ぐことや環境改善、猫の病気の対策にもなります。

青木(晴)委員： 小学校の出前授業で、TNR 活動を取扱うのはハードルが高いように感じますが、活動を通して、気を付けたい部分等がありますか。

活動団体： 出前授業では、どこか一つの立場に偏らないような授業をしたいです。私たちは動物と社会が共生していくためには、なにが必要なのかを自ら考えられる人や興味を持つ人が多くいる社会が人間も動物も過ごしやすい社会だと考えています。そのため手術中の様子はイラスト等で簡略化して伝えたいと思っています。

# Team Petrio

## 高知子どもファンド報告会



### 譲渡会の運営



### 鏡川緑地公園イベント



### 活動広報のための名刺



### 昨年度制作したポスター

- 小学生を対象に分かりやすく
- なるべく中立的な立場で  
→ペットショップ、市役所、  
愛護団体の方それぞれから  
アドバイスを頂いて作成



細かく先を見据えた計画を立てる  
&  
それを一つずつ実行していく

### 展望その1

#### 仮説：小さい時からの教育が必要

- ①犬猫を飼う際に大事なことについて、小学生へポスターを配布
- ②小学校に行って、動物と人間の共存について出前講座を行う

## No. 7 高知清掃隊

### ○発表○

今年度は、清掃活動、自由研究の受け入れ、防災イベント出展、緑地公園イベントのごみステーションボランティア、ボランティアガイダンスでの説明、こうち環境フェアの開催等を行いました。

清掃活動では、鏡川のごみの種類・数量調査を2か所で実施しました。その後の活動では、ごみの多い区域を重点的に清掃しました。また、多く捨てられるごみを特定し、タバコが約1800本と圧倒的に多かったです。今後、ミーティングで対策を練っていきたいと考えています。

第20回鏡川緑地公園イベントでは、問題となっているごみのポイ捨てを減らすため、ごみ箱の管理とポスターを使っての啓発を行いました。楽しめる工夫として、ごみをごみ箱に投げ入れて捨ててもらおう形式を用意しました。

他には、様々な海ごみを集めて資料にした「海ごみキット」を制作しました。2月の種崎海岸での清掃でごみを分類し、それを材料としました。今後、環境啓発のために、イベントや発表会で使用していきます。

次に、私たちが企画・運営した環境イベント「こうち環境フェア」です。森林や海、ごみなど様々な分野の団体さんや企業が計9団体が参加しました。

そして、各地から集まったスタッフの協力もあり、従事者40名、参加者40名で成功を収めました。チラシやラジオなど広報にも努め、またYouTube動画も作成し、好評を頂いています。環境啓発のために、えんぴつやごみ分別ゲームのセットを作成しました。また、広報のために、メンバーのユニフォームもデザインしました。

良かった点として、清掃活動を予定以上に実施できたこと、活動を通して地域や環境にまつわる団体同士での交流を深められたこと、イベントで環境美化啓発ができたこと等があげられます。

悪かった点としては、それぞれのメンバーの仕事の量が偏ったことやメンバーの都合が合わずいくつか計画を行えなかったことです。また、「こうち環境フェア」の、役割分担や、実行、他団体との連携などが行き届かなかったことなどがありました。今後の活動では、活動初年度に得た経験を活かし、清掃という面で、交流を広げ大きなつながりを持って、こうちのまちづくりに貢献していきたいと考えます。



### ○質疑応答○

増田(善)委員： Instagramで活動を見えています。こうち環境フェアで頑張ったこと、工夫したことがあれば教えてほしいです。

活動団体： ラジオへの出演や飲食店やピピネット等で広報活動しました。

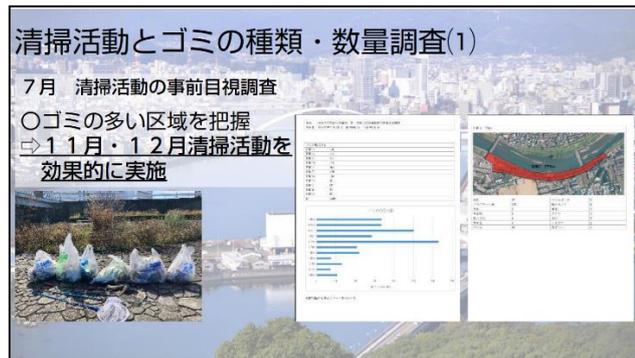
高橋菜： SNSはどの程度の更新頻度か。

活動団体： 月2回～3回は更新するようにしています。



# 高知清掃隊

## こうちこどもファンド活動報告



### こうち環境フェア

- ・色々な環境に関する団体や企業に連絡、出展をたのむ
- ・大規模環境啓発イベントを開催  
(8月準備開始、12月開催) 企画・開催：高校生
- ・広報  
...ラジオ「エコエコアラカルト」収録  
...チラシ1000枚印刷、配布や飲食店への掲示を行う

### こうち環境フェア

- ・色々な環境に関する団体や企業に連絡
- ・大規模環境啓発イベントを開催  
(8月準備開始、12月開催) 企画・開催：高校生
- ボランティアスタッフにも協力頂き、無事成功
- ・撮影記録からYouTube動画作成
- ・反省会も実施  
⇒次年度の改善法も固まる

【密着!】高校生が考えた企画とは!?

12月10日開催 こうち環境フェア

### 活動でよかった点(トータル的に)

- 清掃活動を予定数以上実施した
- 清掃活動を通して地域の交流を深められた
- 清掃・環境に関する団体同士の交流も深められた
- 大規模イベントに参加し、多数への美化啓発と、多量のごみの分別の徹底を行えたこと
- 活動の予告や広報を、様々な情報ツールを用いて発信できた

### 活動で悪かった点

- ①各メンバーの仕事量の偏り
- ②メンバーの出席率の偏り→アイデアの偏り
- ③活動の計画がメンバーの都合により行えないことがあったこと
- ④「こうち環境フェア」での役割分担やその遂行、他団体との連携の不備

### 今後へ向けた活動内容

活動初年度に得た経験を活かし、清掃という面で大きなつながりを持って、こうちのまちづくりに貢献していく

- グループ話術で話し合いの効率化
- イベント参加で環境啓発効果UP
- 河川沿いにどなたでもの清掃用具を設置
- 河川・海岸でポイ捨て禁止の看板設置

### ご清聴ありがとうございました。

#### ファンド中、清掃隊活動に関わった企業・団体

- 株式会社 フタガミ
- 高知市環境活動支援センターえこらほ
- NPO法人環境の社こうち
- 高知生物多様性ネットワーク
- 九重naturalチーム
- 九重youth
- 高知市環境業務課
- 公益社団法人 高知県社と緑の会
- アジロ山の自然と環境を守る会
- Différent
- 鏡川緑地公園イベント実行委員会
- 高知放送

## No.8 Lien

### ○発表○

「異文化交流を通して、英語の楽しさを知る。」をテーマに10月に英語のイベントを開催しました。

7月に協力者の募集やプログラムの検討をしました。8月にはイベント内容を具体化したり、チラシの作成や配布等をしました。9月に高知国際高校付近の小学校に直接呼びかけをしました。また、高知龍馬学園さんとの打合せを行いました。

11月12月はイベント開催を踏まえて、こうちこども未来ビレッジで活動について話しをしました。

イベントは地域内外の小学生が外国の方と交流する良い機会となり、外国の方と共に英語に触れることで、英語を話すことの楽しさを知り、異文化理解を深める手助けができました。

イベント開始直後は英語が苦手な子は緊張して積極的でなかったですが、英語でのアクティビティを通して最後はみんなで楽しく参加している様子を見ることができました。英語を楽しんでいると思ってもらえるきっかけづくりができる場を作ることができたと思います。

対象が小学校高学年と少し幅が狭かったことや、高知龍馬学園さんの協力でネパールの方との交流もできたが、日程の関係で外国の方の国の偏りがあったので、来年度は解消できるようにしたい。

### ○質疑応答○

古谷委員： このイベントに参加した小学生の感想はありますか。

活動団体： イベント開催後にアンケートを取ったのだが、楽しく英語が学べたという意見が多くありました。

高橋委員： イベントに参加して、英語やほかの国の文化を楽しく学ぶことができました。よかったと思います。

中城サポーター： 対象を近くの小学校に広げていくお考えはありますか。

活動団体： 今回は地域の小学生が対象だったので、次回は対象を広げたいです。



## No.9 Mteens

### ○発表○

窓ガラス飛散防止フィルムの普及活動を行いました。

まず私たち自身のスキルを向上させる必要があるため、フタガミさんに貼り付けのコツを教えてくださいました。また、防災の講話をしていただき、フィルムを貼る意義についても再確認できました。8月8日にもフタガミさんにご協力いただき丸ノ内高生を対象に貼り付け体験を行いました。今回はMteensのメンバーが教える側となって、9月3日にははりまや橋小学校で、10月29日には高知国際高校のイベントに参加し、フィルム貼り付け体験に小さなお子さんから年配の方までたくさんの方が体験してくれました。私たちも回数を重ねるごとに上達していきました。9月9日にフタガミさんのイベントにブース出展を行いました。初めての屋外の活動で強風の中での活動となりました。

また、急遽フィルムを張ったガラスと貼っていないガラスで割れ方にどのような差があるかを比較することになり、私たちも改めてこの活動の意義・効果を感じることができました。

また、12月9日には、Mteens主催のイベント「まるぼうさい」を開催しました。このイベントには自衛隊の方にも協力いただき、講話と実習をしました。実習では、ロープワークや毛布で作った応急担架づくりや止血方法を行いました。



また、避難の呼びかけで役立つ大声出し大会を行いました。これは9月に行ったフタガミさんのイベントを参考にしました。また、フィルム貼り体験はそれぞれの教室に分かれて行いました。

反省点としては、リサーチ不足や計画の甘さから出張貼り付けができなかったことや、イベント周知が少なく、参加者数が少なかったことです。ただ、フタガミさんや自衛隊の方々、高知国際高校等と交流することもでき、幅広い人に知識を広めるという目標は達成できました。

高校生主体の防災に近づけました。今後はチームの活動を広げ、より高校生の防災意識を高め、広めて行きたいです。



# Mteens

## 成果報告

7月8日

まずは私たち自身のスキルを向上。  
Mteensメンバーで参加した、フタガミさんによる  
「窓ガラス飛散防止フィルムの貼り付け」講座



8月8日

丸ノ内高校生に参加者を募集。  
フタガミさんによるレクチャー後、  
Mteensメンバーが教える側になって  
「窓ガラス飛散防止フィルムの貼付  
体験」を実施。



道具→

9月3日

はりまや橋小学校でのフィルム貼り付け活動

10月29日

国際高校さん主催のイベントに参加



様々な年代のたくさんの人に  
フィルム貼りを体験していた  
だけ、私たち自身もどどん  
と上達していきました！



9月9日

フタガミさんのイベントに参加  
フィルム貼りの実演



「飛散防止フィルムを  
貼っていただいたガラス



急速、フィルムを貼ったガラス  
と貼っていないガラスと比較も  
行い、改めてこの活動の意味や  
効果も実感できました！

12月9日 自衛隊の方にご協力頂き、  
Mteens主催のイベント  
「丸防災」を実施！



・自衛隊の方による講話  
・実習  
(ロープワーク、止血、  
動けない人の運搬 など)  
・大声出し大会  
(避難の呼びかけなどの際  
声量が必要ということで)  
・窓ガラス飛散防止フィルム  
貼り付け体験



講話をしてくださった  
自衛隊の赤松さん！



### 活動の写真

応急担架づくりなどを学んだ！

5、6人のグループで協力して  
フィルムの貼り付けを行った！



大声出し大会！  
楽しみながら防災を考えられた

→教室にフィルムの貼り付けを行った

### 反省・感想

- ・計画していた「保育所などへの出張貼り付け」が実行できなかった。(リサーチ不足、計画の甘さ)
- ・イベントの参加人数が少なく、周知が十分でなかった。
- ・様々な団体と交流することができ、「幅広い年代の人に知識を広める」という目標は達成できた。「高校生主体の防災活動」という目標にも近づけた。
- ・今後はチームの活動を広げていき、より多くの高校生に防災の意識を広めていきたい。

## No.10 旭っ子記者クラブ

### ○発表○

旭地域取材して旭の良いところや面白い人を見つけました。

イベントを企画したり、参加して地域の人とたくさん交流ができました。

7月、8月は取材をしました。バレエのお姉さんに夢の話の聞いたり、ポッチャでおんちゃん勝負をしたりしました。

10月はハロウィンイベントを開催し、たくさんの方が仮装してまちを歩きました。ごみ拾いも行い、10kgも集まりました。いろんな仮装があったのでまちの人からは「面白かったので、来年も仮装して参加したい」という声をいただきました。

旭は古いまちけど良さがあります。それは旭の人は地域のことをよく知っていることです。本宮川のホタルは何十年も昔から地域が守っています。人の命を守ることを考えると本宮川は水害対策によってコンクリートで固められてもおかしくありません。そうしないのは地域の声があるからです。

これから先の未来に地域の声をなくさないために私たちはいます。

旭には、新しいところもあります。お店や他のところから来た人です。少ないけど若い人もいます。活動の中でお話しをする中でお互いのことをあまり知らないと思いました。

SNSはお互いを知るきっかけになります。

知り合うことで話せたり、一緒に遊んだり、手伝ったりできます。地域の人に「遊びにきーや〜」とか「手伝ってや〜」と言われると嬉しいです。

詳しい内容は、活動の冊子にまとめています。

これからも私たちはもっと旭を盛り上げて元気で面白いまちにします。

### ○質疑応答○

古谷委員： 7月から8月に本宮川の生物救出とありますが具体的にどのようなことをしましたか。

活動団体： 雨が降ったら本宮川の水はなくなるので、取り残された魚をバケツに入れて救っていました。

青木(晴) 委員： 地域に実際にこういうところが特にすごいと伝えたいことはありますか。

活動団体： 高齢の方から若い方まで地域の人みんなが協力してくれることです。



取材報告動画は  
こちら↓



○発表○

「久重の里山の魅力 再発見プロジェクト2 SDGs で持続可能なまちづくり」

私たちは、里山 久重の魅力を発見し、地域内外に発信しています。

6月は今年もまちの小学生親子がホタルの観察で私たちの里山を守る取り組みを発信し、交流しました。

7月は高知市地域防災推進課と災害用マンホールトイレの設置方法等を学びました。小学生にわかりやすく伝える方法をみんなで考えました。また、段ボールベッド作りも学びました。同じようなパーツがたくさんあって、小学生にはわかりにくいと思いました。その他にも地元のお祭りでごみの分別ボランティアをさせてもらいました。お客さんにも分別をしてもらい、SDGsについて意識を持ってもらいました。

8月・9月には私たちの活動の原点、野草について、土佐植物研究会の細川公子先生に久重で見られる秋の七草を教えてくださいました。チラシを作って、地域の家庭に配布しました。

12月の防災イベントで小学生に教える「お菓子ポーチ作り」の練習をしました。どのように伝えたらわかりやすいか、自分たちの団体で取り組んでみました。

11月の地域の秋のおまつりに、私たちも手伝いたい！と、人手がほしい「お餅つき」を協力することにしました。また、お祭りでは、ステージで久重 natural チームの活動紹介も行い、たくさんの方に知っていただきました。

11月は地域の里山部会のイベント「里山ウオーク」や地域の自主防災会の方と「こうち減災女子部」のみなさんに災害時に知っておきたいパッキングを習いました。

12月の「久重小学校区 防災イベント」では、これまで練習や準備をしてきた、「久重小学校区 防災イベント」の本番です。防災参観日で、1、2年生にはお菓子ポーチ作り。3、4年生には段ボールベッド作り。5、6年生には災害用マンホールトイレの設置を中高生が教えました。

日ごろから仲良くなっていたら、災害時は安心な関係になれます。みんなで助け合って、非常時を乗り越えたいです。

1月6日、七草がゆに入れる、春の七草の野草について、地域の橋詰辰男さんに教えてください、みんなで採りました。次の日は地域のイベント「春の七草フェスタ」です。前日の七草をきざんでおかゆに入れます。また、里山ピザ作りをトービアンさんに学び、参加者にふるまいました。

2月はタンポポの調査をしている牧野植物園に久重地域のタンポポを採って送り、どんな種類のタンポポが生息しているのか調査協力をします。

細川公子先生と地元企業相愛の大利さんにご協力いただき、採取の方法を教えてくださいました。チラシを印刷・配布して、地域の家庭にも案内しました。

今年はたくさんの団体との交流ができ、人とふれあうきっかけをいただきました。

地域のイベントに子どもの視点を取り入れ、まちづくりに大きく関わることができました。地域の方といっしょに、まちを動かしていることを実感しました。

このような、子どもたちと地域の方との取り組みが評価され、今年度、博報賞をいただきました。

これからもまちづくりに関わり、高知のまちを元気にしていきたいです。

○質疑応答○

野村サポーター： 来年はどんなことをしたいと考えていますか。

活動団体： 防災の活動を引き続き行いながら、久重の歴史を学びたいです。また今年度実施できなかった星空観察会をしたいです。

青木(晴)委員： 様々な地域の方と関わることで普段の生活で変わったこと等はありませんか。

活動団体： 例えば久重のまちづくり計画に参加して、地域にこんな人がいるんだということが増えました。久重地域は、特に建設業の方が多くいるので、小屋づくりをお手伝いしてもらったりしてくれています。



## No.12 Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

### ○発表○

「私はあの有名な坂本龍馬じゃ。今日は土佐のまちを良くしようとみんなあが集まっちゃうと聞いて、こじゃんと人がおるやんか。」

「これは校長先生みんな頑張りゆうのう。ありゃ、ここにお金が落ちちゃう」

「おお、あんた坂本龍馬さんやんか。お金やったら余るばああるき、取っちゃよきや」

「おおすまんのう。これでわしの好きな軍鶏鍋がたるばあ食べれるぜよ。」

「おまんらあ何のんきなこと言いゆうがぜよ」

「あんたは誰で。」

「こう見えても土佐の生んだ偉大な武将 長宗我部元親じゃ」

「ところでおまん何をしにきた」

「今日は校長に一言いいたいことがあってきたがよ。NSP 言うがが、防災について取り組みゆういゆうけんど、地震がきたらどうするか分かっちゃうがよ。」

～地震のアラーム音～

「毎年避難訓練をやりゆうけど、やっぱりぱっと動けんね。」

「若いもんが地域の防災リーダーとなって防災意識を高めてもらわな。一緒に手伝ってくれや。」

今年1月1日に能登半島地震が発生し、地震や防災にこれまで以上に考えることが多かったのではないのでしょうか。

先ほど見ていただいたのは、防災にわかといい、防災意識を高めてもらうためにイベント等で披露しています。地域のお年寄りや子どもから好評です。

9月には助成金を使って作成した改訂版避難マップを地域の方々に配布しました。印刷する前に避難場所の確認に行き、お年寄りや子どもも避難できるかどうかを調べました。また、持ち運びしやすいように一回りサイズの小さいマップも用意しました。

そして、9月の地域一斉避難訓練はマップを手にした人が避難場所に集まりました。また、防災アンケートも行いました。避難マップの英語版を作成し、外国人観光客が多く集まるリニューアルオープンした桂浜に設置しています。受け取った人からは、地震や津波について知らないことばかりなので助かるといったお言葉を耳にしました。12月にはこうちこども未来ビレッジに参加し、ブースでは、紙スリッパや紙食器を作ったり、防災グッズの販売を行いました。2月には高知大学の岡村教授の防災研修会に参加し、知らなかったことをたくさん知ることができ、とても勉強になりました。私達はこの学びを私達だけに留めておくのではなく、NSPの発表の際にも伝えていきたいと思いました。日ごろから地域の人たちとのつながりを大切に、災害時にスムーズに協力できるよう、地域のイベントへの参加を続けていきたいと思っています。

### ○質疑応答○

尾崎サポーター： 今後、取り組んでみたいことはありますか。

活動団体： 今後は防災についての情報共有をしていきたいと思います。

増田(光)委員： 避難マップを改定するにあたって工夫したところがありますか。

活動団体： 子どもの避難が難しいところ等を調査したところです。



まもれ高知  
 自らの生命を守り  
 われらの地域を救う



ありがとうございました!

こうちこどもファンドへご寄附をいただいた皆さま（令和6年11月1日時点）

多くの善意をお寄せいただき、ありがとうございます。

企業・団体（50音順）	寄附年度
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（ゆにぞんスマイルクラブ） 様	H30・R 4
I D E A L設計 様	H30
旭環境スポーツ施設株式会社 様	R 3
一般財団法人高銀地域経済振興財団 様	H26
伊東電気有限会社 様	H30
入交道路施設株式会社 様	R 1・2・3・4・5
医療法人仁栄会 島津病院 様	H25
V E R T E C H N O株式会社 様	R 1
内田塗料株式会社 様	R 4
Gaku建株式会社 様	R 5
学校法人日翔学園 様	R 1
和建设株式会社 様	H25
株式会社アルゴ 様	R 3・4
株式会社アルファドライブ高知 様	R 1
株式会社インターナカツ 様	R 1
株式会社ウエストアライアンス 様	R 6
株式会社オーエス・エンジニアリング 様	H30・R 4
株式会社開洋 様	R 3・4
株式会社掛水環境研究所 様	R 4
株式会社片岡電気工事 様	H24、R 3・4
株式会社岸之上工務店 様	H25
株式会社北村塗装店 様	R 5
株式会社国見開発工業 様	R 3・4
株式会社栗田商店 様	R 5
株式会社黒岩設計 様	R 4
株式会社 KCC 高知支店 様	R 5
株式会社ケンジン 様	R 3
株式会社公職研 様	H25
株式会社コトブキ 様	R 4
株式会社高知タマモ 様	H24
株式会社高知ビーフ 様	H30
株式会社高南メディカル 様	H30、R 1・3・4
株式会社C I Jほくでん 様	R 1・3
株式会社シグマ設備設計室 様	R 4
株式会社四国機電 様	R 1・2
株式会社四国建設センター 様	R 3
株式会社四国清掃工業 様	H24・26・28・29・30、R 1
株式会社四国相互手形センター 様	H25
株式会社四国ポンプセンター 様	H24、R 1・4・5
株式会社ジャクエツ 高知店 様	R 5
株式会社昌栄建設 様	R 4
株式会社勝賀瀬建設 様	R 4
株式会社照和建设 様	R 4
株式会社昭和電気工業 様	R 5
株式会社シンゲン 様	H30、R 1・2・3・4・5
株式会社伸光堂 様	R 5
株式会社シンテック 様	H24
株式会社西部技研 様	H30
株式会社セイミツ 様	H24
株式会社総合企画設計 様	H30・R 4
株式会社双電社 様	H24
株式会社そーむ 様	R 4
株式会社ダイセン 様	R 3・4
株式会社大東電機 様	R 5
株式会社タカチ測建 様	H30
株式会社津島工業 様	R 3・4・6
株式会社常光電機 様	R 3
株式会社道路交安 様	R 4
株式会社永野基礎 様	H30、R 2
株式会社濱田水道工業 様	R 5
株式会社響建設 様	R 3
株式会社弘田電器 様	R 3・4
株式会社ビル環境衛生管理 様	R 5
株式会社豊栄電気工事 様	H27
株式会社松井ビル 様	H24・25
株式会社ヤマト電設 様	R 3
株式会社ヤマサ 様	R 5
株式会社ライフラインサービス 様	R 3・4
株式会社リーブル 様	R 4
株式会社若竹まちづくり研究所 様	H30、R 1・3
企業組合高知中高年事業団 様	R 4

協和運輸株式会社 様	R 4
紀和工業株式会社 様	H30
楠瀬ミシン商会 様	R 4
黒潮電機株式会社 様	R 5
構営技術コンサルタント株式会社 様	H30
高知黒潮ライオンズクラブ 様	H25・26
高知市職員労働組合 様	H24
高知日野自動車株式会社 様	R 4
高知市まちづくり未来塾 様	H26
高知重炭株式会社 様	R 1
高知市旅館ホテル協同組合 様	H24
高知スタンダード石油株式会社 様	H24、R 2・3
高知ビルメンテナンス協同組合	R 4
高知県青年読売会 様	H26
高知日産プリンス販売株式会社 様	R 3
高知プラントサービス株式会社 様	R 1・5
高知南ライオンズクラブ 様	H24
高知民謡クラブ 様	H26
高知緑化建設株式会社 様	H30、R 3
国際ロータリー第2670地区 様	H25
さくらハイヤーグループ 様	R 1
三愛オブリカカスタマーサービス株式会社 様	H25・26・27・28・29・30、R1・2・3・4・5・6
三共工業有限会社 様	H24
三洋建設株式会社 様	R 5
四銀総合リース株式会社 様	R 6
四咲会（四国銀行よさこい咲都支店後援会） 様	R 1
昭栄設備工業株式会社 様	H30
新進建設株式会社 様	R 3・4
鈴木建設株式会社 様	R 4・5
大旺新洋株式会社 様	R 3
太平産業株式会社 様	H24・28
大和リース株式会社 高知営業所 様	R 5
田岡土地家屋調査士事務所 様	R 3
東京テクニカサービス株式会社 ドコモショップ愛宕店 様	H24・25・26
特定非営利活動法人こうち高齢者福祉事業団 様	H30・R 4
特定非営利活動法人高知市こども劇場 土佐チル 様	H30
土佐通信システム株式会社 様	R 5
とさでん交通株式会社 様	R 5
トヨタL&F西四国株式会社 高知支店 様	R 3・4・5
西村商工株式会社 様	H24、R 1・4・5
日進設備工業株式会社 様	R 3
ニッポン高度紙工業株式会社 クラブえふ 様	R 1
ニッポン高度紙工業株式会社 様	R 1
パシフィックソフトウェア開発株式会社 様	H24
福留開発株式会社 様	H24・30
丸仁商事株式会社 様	H24
丸平工業株式会社 様	R 5
ミセスオブザイヤー四国事務局 様	R 5・6
モリデンキ 様	R 4
山下電機株式会社 様	R 3・4
有限会社愛機工業 様	R 3・4
有限会社大石電機 様	H24・25・28
有限会社桂塗装 様	R 1
有限会社高知ダルマ電機 様	R 3・4
有限会社寿運送 様	R 1
有限会社城西電気 様	R 1
有限会社ゼネラル物流 様	R 4
有限会社長崎電機 様	R 5
有限会社タック 様	R 3
有限会社タナノ電気 様	R 1・4・5
有限会社西純電業 様	R 4
有限会社田部興業 様	H30、R 2・3・4
有限会社フジムラ 様	R 5
有限会社舞高電設 様	H30、R 2・3・4
有限会社丸栄自動車整備工場 様	R 3
有限会社ヨシコー建設 様	H30
有限会社吉田設備 様	R 3
有限会社東央警備 様	R 4・5
有限会社ルート設計事務所 様	H30
よこせと・まちづくり市民会議 様	H26
読売センター高知長浜 様	H26
依光内科クリニック 様	H25
和住株式会社 様	R 2
ワシオ工業株式会社 様	R 4
	ほか12社

個人 (50音順)	寄附年度
石川 智 様	R 3
大石 健司 様	R 3・4・5
オークス大野 芳絵 様	R 3・5
片山 晴紀 様	R 3
上村 辰也 様	R 3
家古谷 優 様	R 4
志賀 舞 様	R 3
田所 伸雄 様	H24
田畑 勇太 様	R 3
比嘉 孝平 様	R 3
益岡 美妃 様	R 2・4・5
益永 律子 様	R 3・4
森 正 様	R 3
吉村 修二 様	R 3
梶原 太一 様	H26・30、R 1・2・4・5
久川 憲四郎 様	H25・27・28・29・30、R 1・2・3・4・5・6
山本 康二 様	R 3
山本 吾一 様	H27
ほか22名	

**【発行】**

高知市 地域コミュニティ推進課  
〒780-8571 高知市鷹匠庁舎2丁目1-43  
TEL／088-823-9080  
FAX／088-824-9794  
<令和6年10月発行>